

1. 交付金事業の名称 エネルギー関連教育充実事業
2. 交付金事業の事業主体 静岡県
3. 交付金事業の実施場所 静岡県
4. 交付金事業の概要

原子力・エネルギーの学習に必要となる以下の内容を実施した。

【県事業】

(1) 実験器具・実験材料の整備

- ・ 原子力・放射線の学習に関する教材の整備（清流館高等学校）
戸田式霧箱、放射線の性質実験器、環境放射線モニタ等を整備し、原子力・放射線の学習に活用した。
- ・ 発電・エネルギーの学習に関する教材の整備（清流館高等学校、袋井高等学校）
火力発電実験器、風力発電実験セット、エネルギー変換実験セットを整備し、発電・エネルギーの学習に活用した。
- ・ 放射線、発電、エネルギーの学習に関する教材として「e-PHLC ことり」を活用した。

(2) 施設見学の実施

- ・ 浜岡原子力発電所の見学（清流館高等学校）
浜岡原子力発電所を見学し、発電・エネルギーの学習に活用した。
- ・ 高エネルギー加速器研究機構、防災科学技術研究所の見学を中心とした「つくば科学研修」を行った。エネルギー学習に活用した。（袋井高等学校）

(3) 講演会の実施

- ・ 放射線についての講習会（袋井高校）
放射線、発電、エネルギーの学習に関する教材の「e-PHLC ことり」の機器操作と実験についての講習会を実施。

(4) 教員研修の実施

- ・ 発電・エネルギーについての教員研修
教員を対象とした研修を実施し、発電・エネルギーについての理解を深めた。

5. 交付金事業に要した経費及び交付金充当額

事業に要した経費 9, 409, 895円

交付金充当額 9, 409, 895円

6. 交付金事業の成果及び評価

当事業により原子力・エネルギーについて児童・生徒等の理解が促進されたと回答した割合は、目標 70%に対して実績 70%で、昨年度同様に達成度は 100%だった。原子力・エネルギーに関する教育への環境整備として当事業が促進されたと回答した割合は、目標 100%に対して実績 100%で、こちらも達成度は 100%だった。実験器具・実験材料の整備事業や施設見学、教員研修を実施したことにより、原子力・エネルギーに関する教育への環境が整備され、原子力・エネルギーについて生徒の理解が促進された。

生徒は、実験器具等を活用して目で見ることのできない放射線の量を測定したり、原子力を利用した発電のしくみを観察・実験・見学したりすることで、体験から放射線やエネルギーについて興味・関心を高める事ができた。